

こらう植えて 肥やす

昨年は四年続きの豊作といわれましたが、今年もぜひ、いや来年もさ来年も豊作が続くようにとは、農家でなくても日ごろの念願です。さて今年もいよいよ早期栽培に次ぐ本格的田植時となりました。豊年への大きな一歩をふみ出す田植、さア田植からしつかりやりましょう。



田植！田植！田植！

緑香苗より丈夫な苗
昨年の早期栽培で、成熟期になっても茎や葉は青く、穂だけが黄色くうれたのを見られたこと、思います。これが大切なことです。

こんな風に育てるには、根を弱らせたりくさらせたりしないことが第一。それには苗を丈夫に育て、株間を適当にし窒素、燐酸、加里の配合や施肥方、特に水のかけ方に注意し、天候がうまくいかなくてもこれを克服する熟意と努力が望まれます。

どうせ稲作は天気だ、緑香苗（ヒヨロヒヨロの弱い苗）でも丈夫な苗でも天気一つで豊年にもなりや不作にもなるた「い。」

などという人があります。勿論天候には大きく支配されますが、丈夫な苗であれば人間の努力で災害にたえ、ある程度不作を豊作にすることもできるのです。

ではどんな苗がよいか。
やはり葉と葉の間が近く、苗に大小の差がなく、根と茎葉とのつり合いがとれ、育ち方がそろっていることが必要です。

かけ水は少な目に

苗をうえたら早く活着（つく）させることが大切ですが、そのためには前記のような苗で木葉が六七枚のものを、一平方米当り二十株ぐらいた浅植えすることです。

活着したら：次には水のかけ方で、昨年の干ばつでも分るよう、水は少な目がよいのです。そこで時々干して土の温度を上げ、土の酸化を早めるようにすると、土中の有害物もなくなりやす。新しい未熟の堆肥、厩肥、乾し草、緑肥、青草などを早くくさらせることも苗の根を強くするために大切です。

緑肥はおそりて

水田の緑肥はなるべくおそりして多くとり、施肥量は一アル当り一〇〇*程度にします。

先ず刈りたおしら酸苦土石灰を一アル当り二〇*ばかり全面に散布し、緑肥が半がわきになった時すきこみます。緑肥一〇〇*に当り窒素約一・三*、硫酸一・五*、塩安一・二*、尿素〇・七*の金肥が節約されることになります。

窒素肥料は穂肥重点

一般には元肥重点のようですが、それでは無効分けが多秋落ちしやすいのです。穂肥重点にするの草出来は貧弱に見えても秋落ちが少く増産ができて

す。

先ず窒素肥料の総量をきめ、次に施肥の回数と量を計ります。総量はその地域の施肥基準によりますが、一回分の割合は平坦地の秋落田でいいますと元肥二割四割（幼穂のころ）、高冷地の一般田では元肥五、追肥三、穂肥二の割合でやりま。漏水田なら追肥と穂肥の間にもう一回追肥をやるがよいと思います。

窒素肥料のやり方

水が自由にかげられる水田なら、施肥：耕起：直後：灌水：田植
という方法が一番よいのですが、少くとも灌水は耕起のあと三日以内にはして下さい。

水が不自由なところは荒代施肥が一番多い方法です。最後に植代施肥という方法があります。これは一般に肥料のきゝめが悪いのですが、漏水田や湿田にはよい場合もあります。

燐酸加里の施肥

これは流亡が少いので元肥に重点をおき、燐酸肥料は水溶性（過石）と枸溶性（溶燐、重焼燐）を半量ずつ併用します。加里の場合秋落田なら元肥七・五、穂肥二・五を分けて施します。以上田植までの元肥については初めに全体計画を立てこれを正確に実行されるよう重ねてお願います。
(農業改良課)



編集者の松江さん

島々を結び 町の出稼者も慰める

天草郡竜ヶ岳町の活動……★

熱意ある町長さん
新しい町としてこの四月に発足した竜ヶ岳。いまこの町では、待望の有線放送が開始されて町中は湧いている。熱意ある森町長の努力でこの町の広報活動はこれを契機に一段とその生彩を加えようとしている。町の広報と公民館活動はもとと表裏一体のものだが、竜ヶ岳町の場合、殆んど区別がなくその活動は一本化されている。

読まれる探訪記事

編集は公民館主事の松江恒夫氏。「九州文学」に所属し作品活動も比較的地球。館報の編集と併行して町史編纂にも情熱を傾けて居られる。町史編纂は森町長の肝入りで行われ十一月の町制記念祝典までには完成する予定。館報では毎号二郷を照ら

公民館報「竜ヶ岳」はタブ二頁もの。年に四回だけは四頁。毎月一回二、二〇〇部発行（町戸数一七〇〇）全戸に配布され、他は北海道、関西

阪神、北九州にかけて町から出稼ぎに行っている人達や、学卒外就職者に郵送される。特に炭坑の出稼ぎの人たちにとっては何よりの慰めになっているという。そしてその御礼の通信がよく編集部に舞込んでいる。

さる四月の町制施行には、記念特集号が発行された。学童や、町長さんや、組合長さん、家庭の主婦にいたる各層のインタービュー記事を網羅して楽しく紙面が飾られた。広報紙は、町や村の行政を正しく住民に知って貰い協力を得るための一つの媒体だが、その前に親しみを持つてよく読まれるということが先決。

平易で楽しい紙面を

その意味で「竜ヶ岳」は編集に工夫しているし、読んでコクのある記事が多いようだ。さらに町議会の議事録を要領よくまとめた記事など、読みやすく本当の意味のサーピスを感じさせる。他に興味ある記事では毎号連載の「竜ヶ岳今昔物語」など。

アンケートで思わぬ自信

どう読まれているか、というので館報のアンケートをとってみたら一〇〇%近くが楽しみに読んでいるというので編集部を喜ばせた。中には、こういう試みはどうか、と新企画を提案するものもあつてその熱心さに驚かされた。

一枚のヒラヒラの複写紙。ごていねいに赤い大きな〇長の印も押してある。金網ごしてなくとも内容を読みとることは困難である。それはつい文句をいゝたくなる風景である。いうまでもないが掲示板は知らせることを目的としてある。通る人の目にとまることが第一条件である。それは手間を省くために複写紙のまま貼つたのだから。それとも法第〇条による告示事項だから、いかにまじめにそのまま

PRのひろば

掲 示 板

それはザラに見かける風景である。人気のない煤けた掲示板。金網が張つてある。掲示物をはがれぬための予防策なのだろうか。金網ごしに見えるものは公文書の写しをそのままに貼つた告示事項。それも何か一度に数枚書いた中の

一枚のヒラヒラの複写紙。ごていねいに赤い大きな〇長の印も押してある。金網ごしてなくとも内容を読みとることは困難である。それはつい文句をいゝたくなる風景である。いうまでもないが掲示板は知らせることを目的としてある。通る人の目にとまることが第一条件である。それは手間を省くために複写紙のまま貼つたのだから。それとも法第〇条による告示事項だから、いかにまじめにそのまま

掲出したのかも知れない。いずれにしても町村のPRとしては無神経過ぎる風景ではないだろうか。知らしめる広報は、工夫から始る。公文書的な難解な言葉はもつと平易にしよう。文字も読みやすいように広い紙に体裁よく鮮明に描こう。読ませるための工夫—そこから町村広報は出発する。人気のない掲示板にスポットライトをあてよう。
(広報課 K)